

国内および福岡大学における臨床研究の位置づけ

下條 三和 細井 薫 朔 啓二郎

福岡大学医学研究科臨床研究科学

要旨：医学研究は社会の発展に貢献することを目的にするものであるが、日本は基礎医学分野に比べて臨床研究分野からの論文数が少ないとされている。私達は、近年の臨床研究の位置づけを把握する目的で、科学雑誌への論文掲載状況を文献検索システム JDream および福岡大学医学紀要から調査した。近年の MEDLINE に掲載された日本からの論文収載件数は、年間約35,000であり、その中で臨床研究に関する論文は、年間約1,500件であり、福岡大学の研究者による論文の収載件数は、約180件であり、臨床研究に関する論文は、約10件で、いずれも経年的な変動は少なかった。一方、福岡大学医学紀要の直近3年間の全原著数では、臨床研究に関する論文は、約60～70%を占めていた。近年においても、日本での基礎医学分野に比べて質の高いエビデンスを提供する臨床研究が少なく、福岡大学においては臨床研究の割合は高いがインパクトファクターの高い臨床研究は少ないことが示された。今後は、エビデンスとして質の高い臨床研究の推進が望まれることから、臨床研究におけるリスクを分析し、適切なマネジメントを行うことが必要である。

キーワード：医学研究，臨床研究，福岡大学，JDream ，JMEDPlus，MEDLINE